

ホースバンドプ라이어：HAC-6241 ワイヤー交換について

- 補修部品のワイヤーは、長さを調整して取り付けていただく必要があります。お手数ですが、下記要領でワイヤー交換作業を行って下さい。



1 新品のワイヤーを通した状態で、爪部を指で縮める。



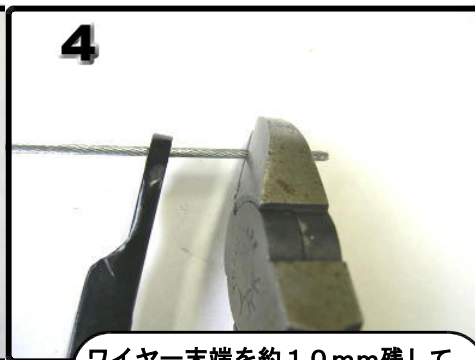
2 爪部は上写真のように、隙間が2mm～3mmの状態。



3 本体ハンドルを握って、一番縮んだロック状態にする。



①～③の状態にすると、ワイヤーのカット寸法がわかります。

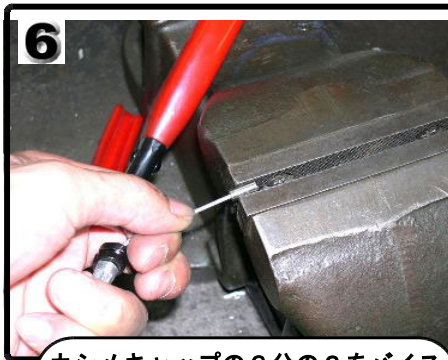


4 ワイヤー末端を約10mm残して、ニッパー等で切断して下さい。



5 カシメキャップを、奥に当たるまで入れて下さい。

⚠ ワイヤーをキャップにしっかり入れて下さい。挿入が浅いと抜けてしまいます。

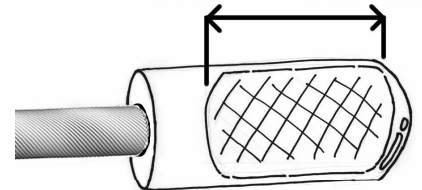


6 カシメキャップの3分の2をバイスではさんで下さい。



7 カシメキャップの厚みが、約4mmになるまでツブして下さい。

⚠ 先端から約3分の2までをバイスで、厚み約4mmになるまで潰す。



カシメキャップの全てをバイスで挟んだ場合や、厚み4mm以下まで潰した場合は、カシメキャップが破損しますので注意して下さい。

ホースバンドプ라이어：TC6241

ワイヤー 部取り付け方法について

本体側のワイヤー固定方式には、2種類あります。

Aタイプ：取付ナットを締めて固定します。
この場合、爪部分が完全に縮んだ状態で、ロックが掛かるように、ワイヤーの位置調整を行って下さい。
付属のカシメキャップは、ワイヤーのほつれ防止に使用して下さい。

Bタイプ：付属のカシメキャップを使用して固定します。
このタイプは、ワイヤーの長さを調節してカットして頂きます。爪部分を完全に縮めロックを掛け、この状態でワイヤー先端の余っている部分を、約10mm残しニツパなどで切断して下さい。その後、下記の要領でカシメ作業を行って下さい。

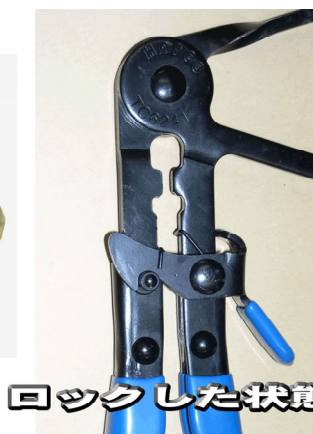
Aタイプ



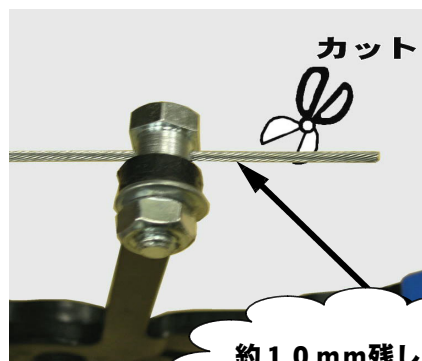
Bタイプ



爪が縮みきった状態

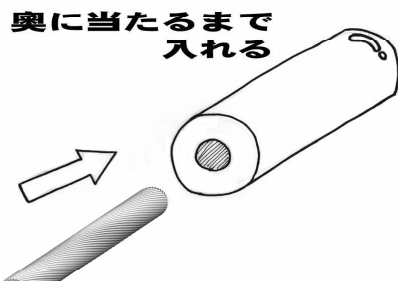


ロックした状態

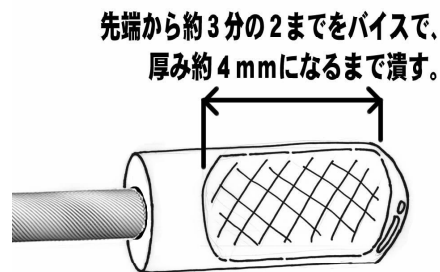


カット

約10mm残して
カットして下さい。



奥に当たるまで
入れる



先端から約3分の2までをバイスで、
厚み約4mmになるまで潰す。



ワイヤーをキャップにしっかり入れてから、カシメを行って下さい。挿入が浅いと抜けてしまいます。



カシメキャップの全てをバイスで挟んだ場合や、厚み4mm以下まで潰した場合は、カシメキャップが破損しますので注意して下さい。



ワンポイントアドバイス

定期的に、ワイヤーへ給油をおこなうと寿命が延びます。